

# SC販売統計調査報告 2011年6月

6月既存SC前年比 : 2.0 %

このたびの東日本大震災により被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地域の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

※6月のSC総売上高(推計)は、東日本大震災の影響により、休業や営業時間の短縮など販売状況を正確に把握できないSCがあることから、発表を控えさせていただきます。

## ■概況

2011年6月の既存SCの前年同月比は2.0%で、前月よりも3.4ポイント改善し、4ヶ月ぶりに前年を上回った。

今月はセール開始時期を変更した影響が大きかった。首都圏を中心にファッション系駅ビルでは、夏のセールを前倒した結果、前年同時期2桁増と躍進し、またその周辺のSCにおいても来街客数の増加や、同時期にセールを開始するなどの対応をした結果、相乗効果がみられ、前年を大幅に上回った。月後半の猛暑とセール時期が重なったSCでは、夏物商品を中心に好調であった。一方セール時期を遅らせたSCでは、セール前の買い控え傾向がみられ、前年を下回るSCが多かった。客単価については、多くのSCで下落しているとの報告がみられた。

クルービス対応では、 PoloシャツやYシャツなどメンズ衣料が好調であった。飲食店は、夜利用がまだまだ厳しい状況である。観光地、あるいは外国人旅行者の利用が多いSCでは、客足は回復傾向がみられるものの、前年クリアには暫く時間がかかりそうである。

今月はテナントの好調が顕著であり、調査対象532SCのうち、前年を上回ったSCで2桁増収は57SC(11%)あった。

立地別でみると、中心地域が3.4%、特に大都市のテナントは4.7%と大幅に改善している。

地域別では、先月に引き続き東北地域が全体で10.1%、中心地域は15.7%と前年を大きく上回った。北海道も全体で2.6%、特に中心地域は4.3%と健闘している。一方四国は全体で-1.9%、中心地域は-4.2%と苦戦している。これは、震災による自粛ムードが依然として見られることや、観光地では、日本人や外国人観光客特に中国人観光客の減少による土産需要や飲食店の利用減が響いている。

政令指定都市別で見ると、東日本の好調が目立つ。仙台市は26.5%、特にテナントは27.4%と先月に引き続き復興需要と、夏のセールに効果が出ている。横浜市は全体で9.9%、特にテナントは12.8%、東京区部4.3%(テナント5.5%)、名古屋市は全体4.5%。要因としてセールの前倒しがあげられる。一方大阪市は全体で-5.8%、テナントは-6.4%、福岡市-2.7%、テナントは-2.9%、北九州市全体-1.3%、テナント-2.2%と苦戦している。これは大阪駅や博多駅の大型商業施設開業の影響が大きく、既存SCでは来店客数の減少がみられ、厳しい結果になった。

※本調査は、2009年12月末現在の全SC3,013SCの中から立地別・SC規模別に1,000SCをサンプル抽出し、調査したものをまとめた。

※集計SC 532SC 回収率 53.2%

※「立地別・地域別 総売上高」「立地別SC・キーテナント・テナント効率」につきましても、東日本大震災の影響により、販売状況を正確に把握できないことから、発表を控えさせていただきます。

表-1 立地別・構成別 売上高伸長率

立地	SC数	総合	テナント	キーテナント	
総合	532	2.0	2.9	0.3	
中心地域	大都市	69	4.6	4.7	2.3
	中都市	78	2.3	3.4	0.3
	小都市	30	0.7	2.4	-1.4
	小計	177	3.4	4.1	0.0
周辺地域	128	1.6	2.6	-0.5	
郊外地域	227	1.3	1.9	0.6	

(注) ■ 都市規模

大都市 : 政令指定都市(札幌・仙台・千葉・東京区部・川崎・横浜  
・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡・北九州の各市)

中都市 : 上記都市を除く人口15万人以上の都市

小都市 : 人口15万人未満の都市

■ 立地 (市・町・村の行政区画単位で区分)

中心(商業)地域 : 当該市・町・村の商業機能が集積した中心市街地

周辺(商業)地域 : 中心地域に隣接した商業・行政・ビジネス等の都市機能が適度に存在する地域

郊外地域 : 都市郊外で住宅地・農地等が展開されている地域

表-2 立地別・地域別 売上高伸長率

立地(SC数) \ 地域		総合	北海道	東北	関東	中部	北陸	近畿	中国	四国	九州・沖縄
		総合	532	2.0	2.6	10.1	3.1	2.5	0.6	-1.4	1.2
中心地域	177	3.4	4.3	15.7	6.4	3.0	0.3	-4.1	-1.4	-4.2	-1.1
周辺地域	128	1.6	-1.6	15.5	2.9	-4.6	0.7	-2.7	2.5	-4.2	4.1
郊外地域	227	1.3	5.6	6.9	-0.2	3.4	0.7	0.3	2.7	0.7	2.6
(SC数)		532	15	29	186	52	44	120	28	14	44

(注) ■ 地域

北海道 : 北海道

東北 : 青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県

関東 : 茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県

北陸 : 新潟県・富山県・石川県・福井県

中部 : 長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県

近畿 : 滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

中国 : 鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県

四国 : 徳島県・香川県・愛媛県・高知県

九州・沖縄 : 福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

表-3 都市規模別・地域別  
売上高伸長率

都 市	SC数	総 合	テナント	キーテナント	
総 合	532	2.0	2.9	0.3	
政 令 指 定 都 市	札 幌 市	10	2.7	2.7	-
	仙 台 市	3	26.5	27.4	17.7
	千 葉 市	5	1.8	1.8	-
	東 京 区 部	50	4.3	5.5	0.3
	横 浜 市	18	9.9	12.8	-0.7
	川 崎 市	4	3.1	3.2	2.6
	名 古 屋 市	12	4.5	4.2	5.9
	京 都 市	11	0.0	-3.4	3.8
	大 阪 市	27	-5.8	-6.4	-1.5
	神 戸 市	18	0.2	1.4	-2.3
	広 島 市	7	1.3	1.0	2.6
	北 九 州 市	2	-1.3	-2.2	3.2
	福 岡 市	9	-2.7	-2.9	-1.5
	小 計	176	2.9	3.4	0.9
そ の 他 の 地 域	北 海 道	5	0.5	-5.0	6.1
	東 北	26	6.9	7.9	4.8
	関 東	109	1.4	2.1	-0.1
	中 部	40	1.7	3.0	-0.1
	北 陸	44	0.6	1.4	-0.1
	近 畿	64	0.0	1.4	-1.0
	中 国	21	1.2	0.0	2.8
	四 国	14	-1.9	-3.4	-0.7
	九 州・沖 縄	33	3.6	5.7	0.1
小 計	356	1.5	2.5	0.1	

※「その他の地域」には、政令指定都市は含まない。

※2003年以降、さいたま市、静岡市、浜松市、新潟市、堺市、岡山市が、2010年4月は相模原市が政令指定都市となったが、さいたま市、相模原市は関東地域、静岡市・浜松市は中部地域、新潟市は北陸地域、堺市は近畿地域、岡山市は中国地域に含めた。

表-4 キーテナント業態別  
売上高伸長率

キー業態	SC数	%		
総 合	532	2.0		
核なし	248	3.3		
1 核	Dpt	17	-0.4	
	GMS	136	1.7	
	SM	51	0.0	
	SS	3	2.6	
	HC	2	1.8	
	DS	3	1.4	
	専門店	5	6.2	
	生協	7	-1.2	
	農協	1	-0.6	
	Dgs	-	-	
	小 計	225	1.1	
	2 核	Dpt+GMS	4	0.2
		Dpt+SM	2	7.7
		Dpt+SS	-	-
Dpt+HC		-	-	
GMS+SM		2	3.3	
GMS+SS		-	-	
GMS+HC		5	1.3	
GMS+専門店		6	3.4	
SM+SS		5	0.8	
SM+HC		4	2.5	
SM+DS		5	-1.7	
SM+専門店		6	4.0	
DS+専門店		-	-	
生協+HC		1	-2.6	
その他	6	-1.5		
小 計	46	2.1		
3 核	Dpt+GMS+SS	-	-	
	Dpt+GMS+HC	2	1.8	
	GMS+SS+HC	-	-	
	GMS+DS+HC	-	-	
	SM+SS+HC	-	-	
	その他	10	0.5	
小 計	12	0.7		
4 核	その他	1	7.8	
小 計	1	7.8		

表-5 SC・キーテナント・テナント効率

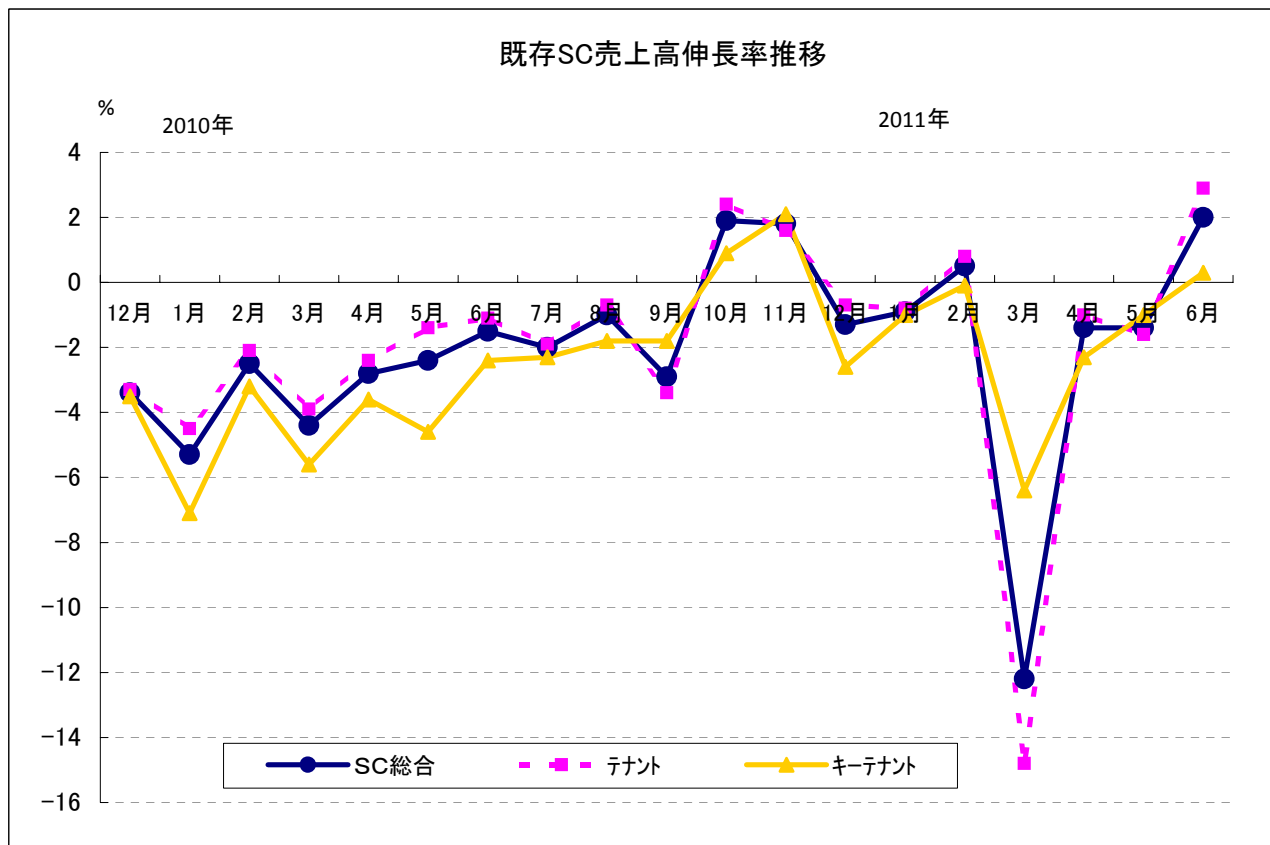
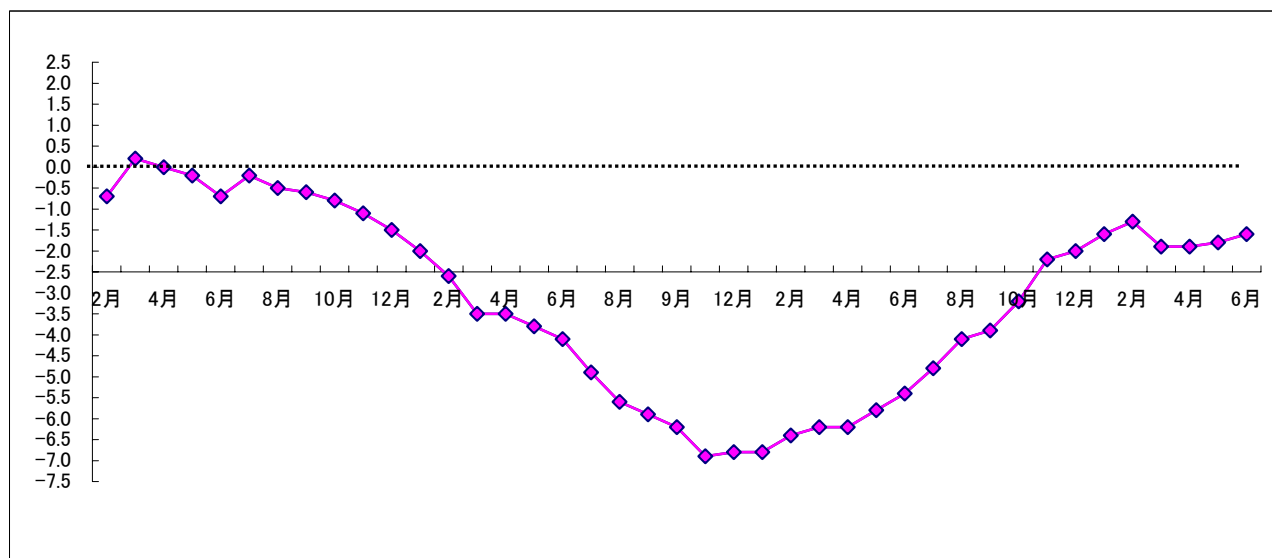


表-6 既存SC移動平均(年間)

	2011	2010	2009	2008	2007	2006
1月	-1.6	-6.8	-2.0	-0.2	0.9	0.2
2月	-1.3	-6.4	-2.6	-0.7	1.0	0.6
3月	-1.9	-6.2	-3.5	0.2	0.6	1.0
4月	-1.9	-6.2	-3.5	0.0	0.5	1.1
5月	-1.8	-5.8	-3.8	-0.2	0.4	1.2
6月	-1.6	-5.4	-4.1	-0.7	0.5	1.2
7月		-4.8	-4.9	0.0	0.0	1.2
8月		-4.1	-5.6	-0.5	0.0	1.2
9月		-3.9	-5.9	-0.6	-0.3	1.2
10月		-3.2	-6.2	-0.8	-0.1	1.1
11月		-2.2	-6.9	-1.1	0.0	0.8
12月		-2.0	-6.8	-1.5	0.0	0.3



(注1) 移動平均(年間) : 該当月を含めて過去1年間の平均値を算出したもの。季節変動による特殊要因や曜日・祭日などの影響が取り除かれ、方向感が把握しやすくなる。

\* 例えば、2011年6月の移動平均は、2010年7月～2011年6月の累計売上に対する前年比です。

$$\left( \frac{\text{2010年7月～2011年6月}}{\text{2009年7月～2010年6月}} - 1 \right) \times 100 = \text{6月の移動平均伸率(\%)}$$

表-7 SC・百貨店・チェーンストア 売上高前年対比

		SC数	S C			百貨店	チェーン ストア
			既存SC				
			SC総合	テナント	キーテナント		
年別	00年	(185)	-3.4	-3.1	-3.7	-2.2	-5.1
	01年	(255)	-2.2	-1.4	-3.3	-0.4	-5.2
	02年	(328)	-2.1	-2.1	-2.1	-2.3	-2.1
	03年	(462)	-1.6	-0.8	-2.4	-2.8	-3.2
	04年	(522)	-1.7	-0.9	-2.9	-2.8	-3.5
	05年	(550)	0.3	1.5	-1.9	-0.2	-2.6
	06年	(523)	0.3	0.9	-0.7	-0.7	-2.7
	07年	(515)	-0.0	0.3	-0.6	-0.5	-1.4
	08年	(553)	-1.5	-1.1	-2.3	-4.3	-0.7
	09年	(507)	-6.8	-6.5	-7.4	-10.1	-4.3
	10年	(513)	-2.0	-1.7	-2.8	-3.1	-2.6
	2010四半期別 (1～3月)	(551)	-4.2	-3.6	-5.5	-4.9	-4.7
	2010四半期別 (4～6月)	(526)	-2.2	-1.7	-3.4	-4.0	-3.9
	2010四半期別 (7～9月)	(531)	-2.1	-2.1	-2.0	-3.1	-0.9
	2010四半期別 (10～12月)	(535)	0.7	1.0	0.0	-0.8	-0.9
	2010上半期 (1～6月)	(488)	-3.3	-2.8	-4.4	-4.4	-4.3
	2010下半期 (7～12月)	(523)	-0.8	-0.7	-1.0	-1.8	-0.9
2010 月別	1月	(557)	-5.3	-4.5	-7.1	-5.7	-4.9
	2月	(541)	-2.5	-2.1	-3.2	-5.4	-2.4
	3月	(546)	-4.4	-3.9	-5.6	-3.5	-6.6
	4月	(517)	-2.8	-2.4	-3.6	-3.7	-4.9
	5月	(539)	-2.4	-1.4	-4.6	-2.1	-5.3
	6月	(540)	-1.5	-1.1	-2.4	-6.0	-1.4
	7月	(537)	-2.0	-1.9	-2.3	-1.4	-1.2
	8月	(538)	-1.0	-0.7	-1.8	-3.2	-1.1
	9月	(537)	-2.9	-3.4	-1.8	-5.2	-0.3
	10月	(533)	1.9	2.4	0.9	0.6	-0.3
	11月	(534)	1.8	1.6	2.1	-0.5	-0.5
	12月	(538)	-1.3	-0.7	-2.6	-1.5	-1.6
2011 月別	1月	(533)	-0.9	-0.8	-1.0	-1.1	-0.1
	2月	(505)	0.5	0.8	-0.1	0.7	0.6
	3月	(531)	-12.2	-14.8	-6.4	-14.7	0.3
	4月	(518)	-1.4	-1.0	-2.3	-1.5	-1.3
	5月	(524)	-1.4	-1.6	-1.0	-2.4	-1.4
	6月	(532)	2.0	2.9	0.3	0.3	0.1
出典		日本ショッピングセンター協会			百貨店協会	チェーンストア協会	

調査分析

(社)日本ショッピングセンター協会 情報企画部  
TEL 03-3536-8121 <http://www.jcsc.or.jp>